筑後川遺産保存活用の推進プラン（５）水沼の君の時代

【①ストーリー】

久留米市域の南西部は、かつて筑後国三潴（みずま）郡に属していました。『日本書紀』には水沼・水間と記された豪族が登場し、ヤマト政権と友好な関係を持ち、海や川を介した水上交通、交易で活躍したと考えられています。

大善寺町には、水沼の君一族の墳墓と考えられる2基の古墳があります。帆立貝式前方後円墳の御塚古墳と円墳の権現塚古墳です。100 mを超える大型の古墳で、5世紀後半から6世紀前半頃に築造されています。

7世紀になると、天皇を中心とした中央集権国家のもとに、水沼と呼ばれた地域は筑後国三潴郡に編成され、郡衙（郡家）と呼ばれる役所が設けられました。大善寺町荊津（おどろつ）の道蔵（どうぞう）遺跡や古賀遺跡などはその関連遺跡と考えられ、水沼の君の末裔たちは、律令国家のもと、三潴郡の役人になったと考えられています。

一方、御塚・権現塚古墳の近くには、7世紀後半の創建と伝わる玉垂宮が鎮座します。そこには水沼の君が関わっていた可能性もあります。この玉垂宮には仁徳天皇の時代に起源をもつとされ、日本三大火祭りの一つに数えられる鬼夜が伝わり、絹本著色玉垂宮縁起、大善寺玉垂宮文書など豊富な歴史遺産も残されています。水沼の君の記憶は現代に生き続けています。

【②構成する歴史遺産】

（国）御塚古墳
（国）権現塚古墳
二子塚古墳
鷲塚古墳
御廟塚貝塚
烏帽子塚古墳
道蔵遺跡
古賀遺跡
玉垂宮
頓宮
（早津崎祭祀遺跡）
弓頭神社
（国）鬼夜
（国）絹本著色玉垂宮縁起
（市）大善寺玉垂宮の石造鳥居
（市）大善寺旧庫裏
（市）大善寺玉垂宮文書
（市）梅津文書
（市）隈家文書
（市）御船家文書
（市）人物埴輪
（市）弓頭神社の考古資料

【③課題】

水沼の君に関連する歴史遺産を守るための対策が十分ではありません。また、子どもたちの関心を高める取組も不十分です。

【④未来のストーリー】

筑後川を舞台に活躍した古代豪族水沼の君ゆかりの地を大切に守っていきます。

幅広い世代で先人たちを大切に思う心を育んでいけるよう、御塚古墳、権現塚古墳や道蔵遺跡などの遺跡を守る活動に取り組みます。特に次世代の担い手となる子どもたちに向けた取組の推進を通して、未来へつながる教育に貢献していきます。

取組の方向
○水沼の君の時代の学習促進 ○水沼の君に関連する歴史遺産の保存 ○水沼の君の時代活用事業の促進 ○散策コースの整備

【⑤体制】　（令和３年６月時点）

地域	市民	大善寺町、安武町、三潴町
	市民団体	NPO 法人久留米ブランド研究会、西部ツーリズム協議会、鬼夜保存会
	事業者	
	関係機関	玉垂宮
久留米市		文化財部局、学校教育部局ほか